

Title	科学技術に関する国民意識調査：科学技術とウェルビーイングとの関係
Author(s)	細坪, 護拳; 加納, 圭; 渡邊, 英一郎
Citation	年次学術大会講演要旨集, 38: 820-825
Issue Date	2023-10-28
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/19206
Rights	本著作物は研究・イノベーション学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Research Policy and Innovation Management.
Description	一般講演要旨

2 D 0 6

科学技術に関する国民意識調査－科学技術とウェルビーイングとの関係－

○細坪 護拳 (NISTEP), 加納 圭 (滋賀大学), 渡邊 英一郎 (NISTEP)

1. はじめに

科学技術・学術政策研究所（以下 NISTEP）では、科学技術に関する国民意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、2009 年度から、「科学技術に関する国民意識調査」を実施している。

本 2023 年度調査（2023 年 6 月調査実施）は、15 歳から 69 歳までの男女合計 6,600 人にインターネットを使って調査したものである。

2. 調査の概要

本調査は、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資する基礎データの提供を目的として、2009 年度以来、NISTEP が科学技術に関する国民意識を把握するために継続的に実施している。

（1）調査対象

インターネット調査会社にモニター回答者として登録している者である。

（2）調査期間及び調査方法

2023 年 6 月にインターネットによって実施した。

サンプル数は N=6,600 で、回答者年齢は 15-69 歳、サンプリングの層化として、男女同数（男性 3,300 名、女性 3,300 名）、15-19 歳、20-24 歳、25-29 歳…60-64 歳、65-69 歳で同数（11 の年齢層、1 年齢層当たり 600 名）とした。

（3）調査時点

2023 年 6 月 7 日から 6 月 21 日にかけて実施した。

（4）調査項目

今般の調査では特に科学技術とウェルビーイングとの関係を把握することが目的である。

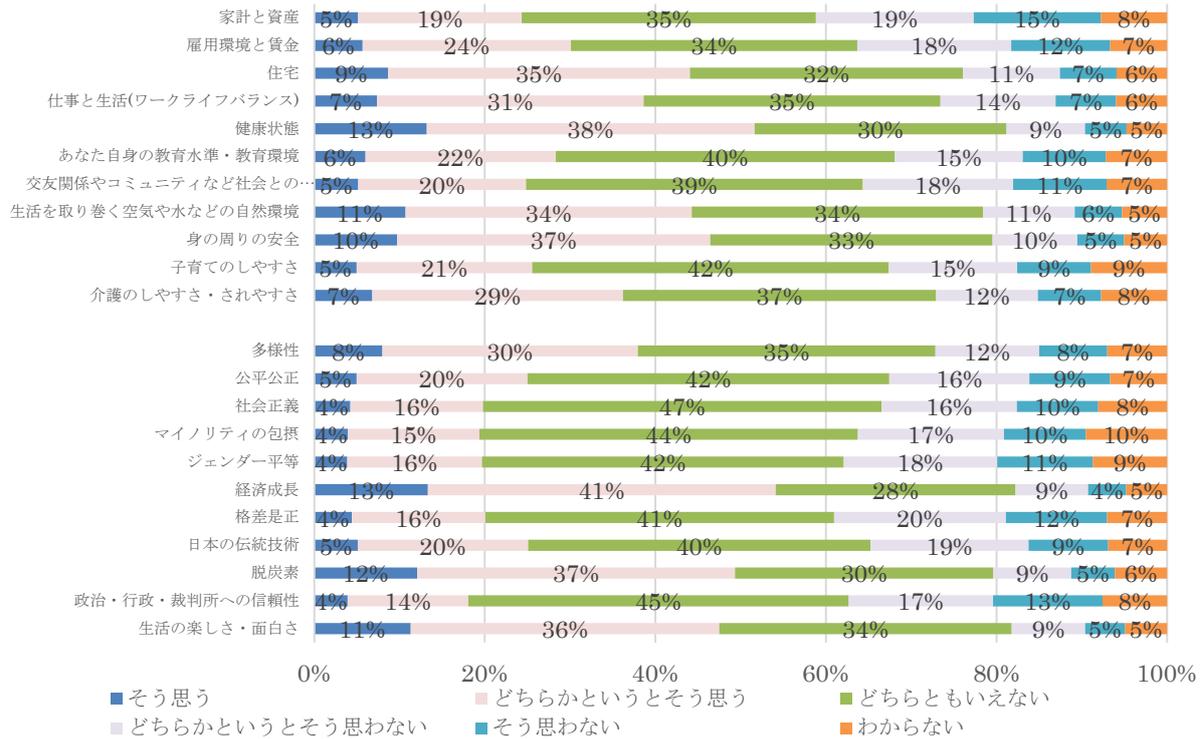
3. 調査結果

本稿では、調査結果のうち、(1) 科学技術とウェルビーイングの関係に関する国民の意識に関する調査結果について示すとともに、(2) 各ウェルビーイング分野における増進と満足度との間の相関分析、(3) 科学技術の発展にともなう不安と満足度との間の相関分析についても紹介する。

（1）科学技術とウェルビーイングの関係に関する国民の意識に関する調査結果

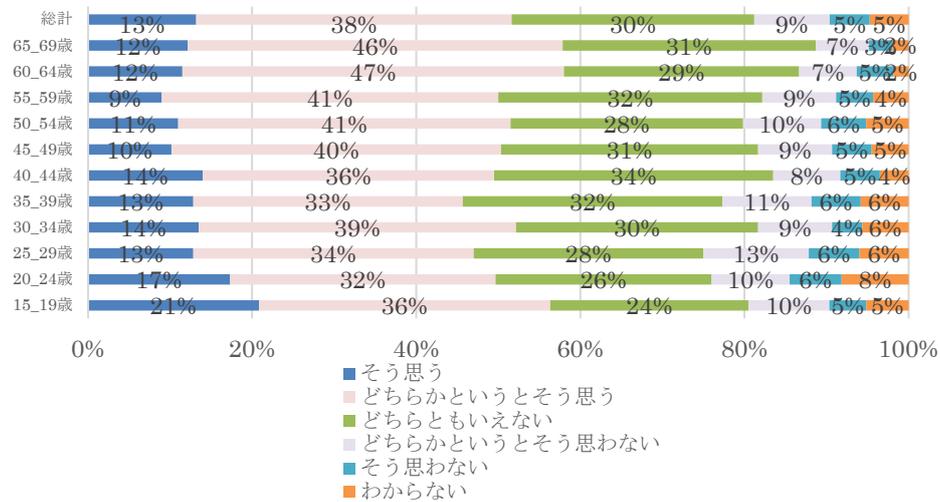
本調査では一人ひとりの多様な幸せ（以下において「ウェルビーイング」という）をもたらす分野を「満足度・生活の質に関する調査報告書 2022(内閣府)」^[1]において満足度が調べられている 11 分野に準拠して設定した（図表 1-1 の上段 11 分野）。さらに、NISTEP が検討し設定した 11 分野を加えた（図表 1-1 の下段 11 分野）。

科学技術の進歩が上述のウェルビーイング 22 分野の増進に繋がっているか国民の意識を調べたところ、図表 1-1 となり、「(どちらかという) そう思う」が 50%を超えるのは、健康状態、経済成長の 2 つとなる。



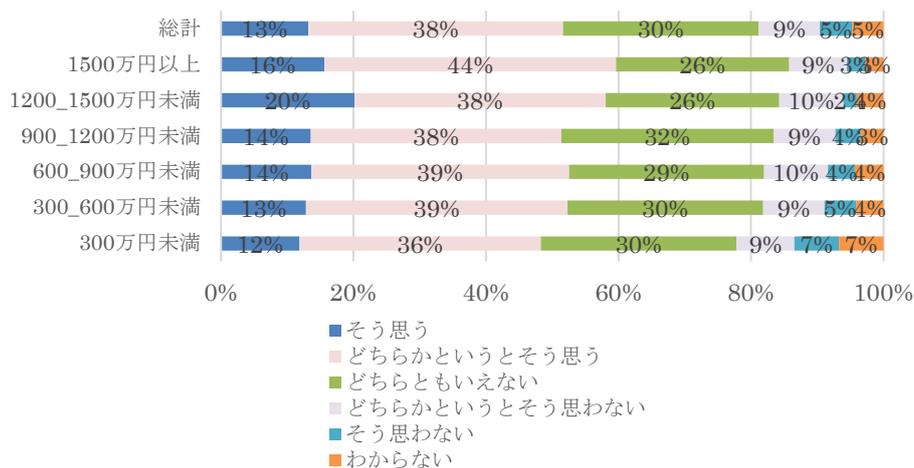
図表1-1 科学技術進歩の総計比較

健康状態の集計結果を「年齢別」で見たところ、「年齢別」(図表 1-2)では若い世代(19 歳以下)とシニア世代(60 歳以上)で「(どちらかという)と思う」が高いことが判明した。



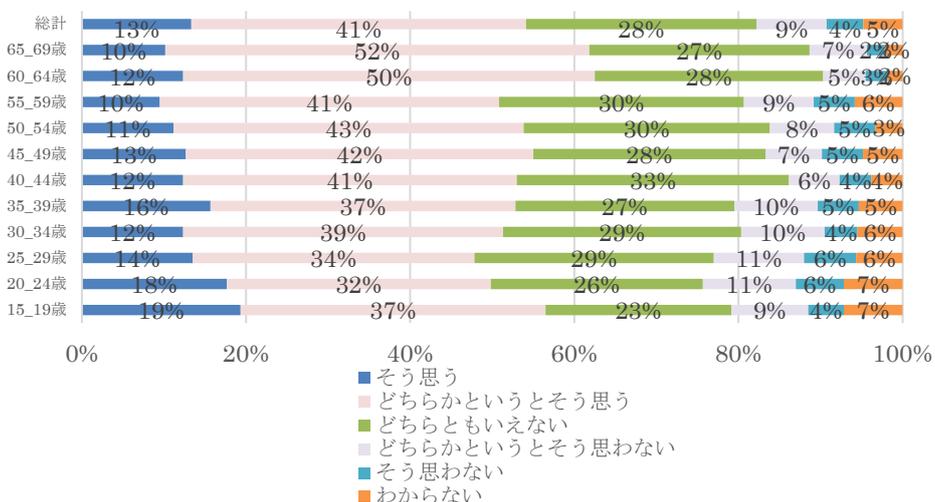
図表1-2 科学技術進歩_健康状態 (年齢別)

加えて、「税込世帯年収別」で見ると、図表 1-3 となり、年収「1500 万円以上」階級をトップに年収が高くなるにつれて「(どちらかという)と思う」が概ね単調に多くなっている。



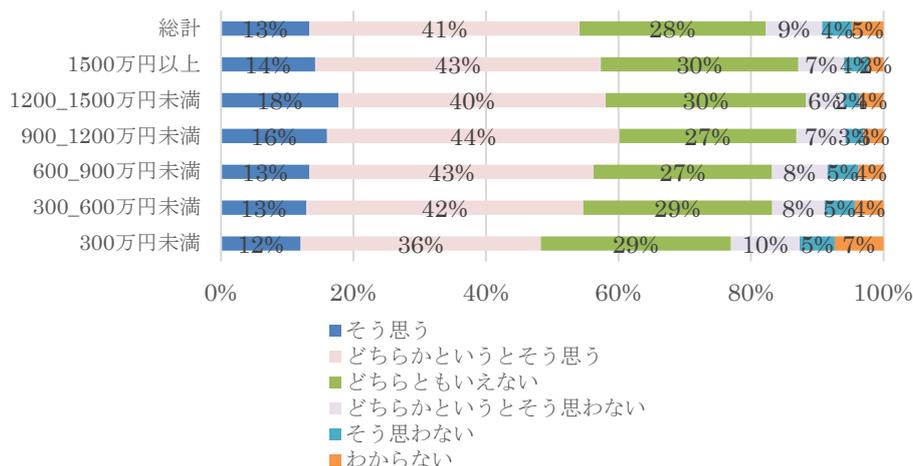
図表1-3 科学技術進歩_健康状態 (税込世帯年収別)

経済成長の集計結果を「年齢別」で見たところ、「年齢別」(図表 1-4)では若い世代(19歳以下)とシニア世代(60歳以上)で「(どちらかという)と思う」が高いことが判明した。



図表1-4 科学技術進歩_経済成長 (年齢別)

加えて、「税込世帯年収別」で見ると、図表 1-5 となり、年収「900-1200万円未満」階級をトップに年収が高くなる、また低くなるにつれて「(どちらかという)と思う」が概ね単調に少なくなっている。



図表1-5 科学技術進歩_経済成長（税込世帯年収別）

(2) 各ウェルビーイング分野における増進と満足度との間の分析

以下の分析を行うに先立って、本調査では幸福度、健康状態、人生満足度、人生の意義、協調的幸福感、畏怖畏敬体験をウェルビーイングの測定項目として設定し、回答者の主観によりその水準を訊いた。これら項目は「文化に関する世論調査—ウェルビーイングと文化芸術活動の関連—（2022年3月文化庁）」^[2]においてウェルビーイング測定項目として設定されているものに準拠した。

科学技術の進歩が内閣府満足度調査に準拠した11分野の増進に繋がっていると思うという回答と、幸福度、健康状態、人生満足度、人生の意義、協調的幸福感、畏怖畏敬体験の水準が高いという回答との関係は図表2-1となる。科学技術の進歩が各分野の増進につながると回答した者は幸福度等が高いという関係がある。（判定はクラスカル・ワリスの順位和検定（H検定）による、有意性水準1%、以下同じ）。

		YYの水準が高い					
		幸福度	健康状態	人生満足度	人生の意義	協調的幸福感	畏怖畏敬体験
科学技術進歩がXXの増進につながる	家計と資産	○	○	○	○	○	○
	雇用環境と賃金	○	○	○	○	○	○
	住宅	○	○	○	○	○	○
	仕事と生活（ワークライフバランス）	○	○	○	○	○	○
	健康状態	○	○	○	○	○	○
	あなた自身の教育水準・教育環境	○	○	○	○	○	○
	交友関係やコミュニティなど社会とのつながり	○	○	○	○	○	○
	生活を取り巻く空気や水などの自然環境	○	○	○	○	○	○
	身の周りの安全	○	○	○	○	○	○
	子育てのしやすさ	○	○	○	○	○	○
	介護のしやすさ・されやすさ	○	○	○	○	○	○

（注）表の縦軸項目と横軸項目の間に相関がある場合「○」、ない場合「×」を示した。例えば、左上の「○」は科学技術進歩が家計と資産の増進につながると考えている人ほど幸福度の水準が高い傾向にあることを示す。

図表2-1 科学技術進歩_増進と幸福度等との関係

科学技術の進歩が NISTEP の設定した 11 分野の増進に繋がっていると思うという回答と、幸福度、健康状態、人生満足度、人生の意義、協調的幸福感、畏怖畏敬体験の水準が高いという回答との関係は図表 2-2 となる。科学技術の進歩が各分野の増進につながると回答した者は幸福度等が高いという関係がある (H 検定)。

		YY の水準が高い					
		幸福度	健康状態	人生満足度	人生の意義	協調的幸福感	畏怖畏敬体験
科学技術進歩が XX の増進につながる	多様性	○	○	○	○	○	○
	公平公正	○	○	○	○	○	○
	社会正義	○	○	○	○	○	○
	マイノリティの包摂	○	○	○	○	○	○
	ジェンダー平等	○	○	○	○	○	○
	経済成長	○	○	○	○	○	○
	格差是正	○	○	○	○	○	○
	日本の伝統技術	○	○	○	○	○	○
	脱炭素	○	○	○	○	○	○
	政治・行政・裁判所への信頼性	○	○	○	○	○	○
	生活の楽しさ・面白さ	○	○	○	○	○	○

(注)表の縦軸項目と横軸項目の間に相関がある場合「○」、ない場合「×」を示した。例えば、左上の「○」は科学技術進歩が多様性の増進につながると考えている人ほど幸福度の水準が高い傾向にあることを示す。

図表 2-2 科学技術進歩_増進と幸福度等との関係

(3) 科学技術の発展にともなう不安と満足度との間の分析

「科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつかもお選びください。」と各項目について訊いたところ、その回答と幸福度、健康状態との関係は図表3となる。

		YYの水準が高い (*低い)	
		幸福度	健康状態
科学技術の発展に伴いXXについて不安が高まっている	サイバーテロ・不正アクセスなどのIT犯罪	×	×
	遺伝子組換え食品の安全性	○	×
	原子力発電の安全性	×	×
	資源やエネルギーの無駄遣いが増えること	×	×
	地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題	○	×
	身近に自然を感じる事が少なくなる事	×	×
	情報が氾濫しどれを信じればよいかわかりにくくなること	×	○
	人間的なふれあいが減少すること	×	×
	クローン人間を生み出すこと・兵器への利用などに関する倫理的な問題	○	×
	人間が怠惰になること	×	×
	科学技術の進歩が速すぎて自分がそれについていけなくなる事	×	○
	人工知能(AI)などの発達により人間の仕事が奪われること	×	×
	新たな医療技術などが普及しても一部の人がしか恩恵を受けられないこと	○*	○*

(注)表の縦軸項目と横軸項目の間に相関がある場合「○」、ない場合「×」を示した。例えば左上の「×」は、科学技術の発展に伴いサイバーテロ・不正アクセスなどのIT犯罪について不安が高まっている人ほど幸福度の水準が高いとは言えないことを示す。

図表3 科学技術の発展に伴う不安と幸福度等の関係

参考文献

- [1] 満足度・生活の質に関する調査報告書 2022(内閣府)
- [2] 文化に関する世論調査—ウェルビーイングと文化芸術活動の関連—(2022年3月文化庁)